

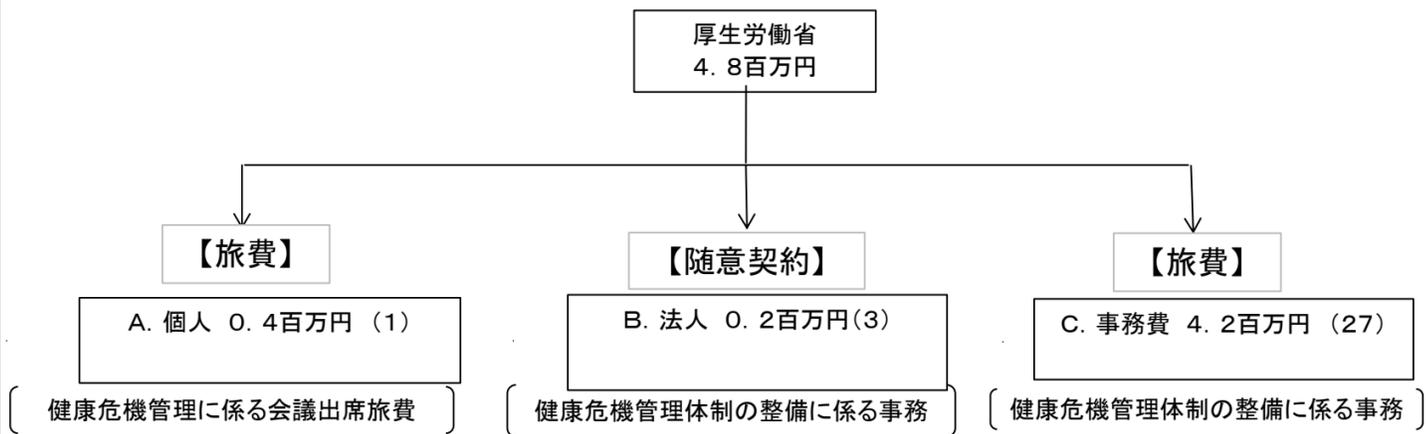
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	健康危機管理体制の整備		担当部局庁	大臣官房		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度		担当課室	厚生科学課健康危機管理対策室		野村 知司	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1 1-1 健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「厚生労働省健康危機管理基本方針」(平成9年1月事務次官決裁)、「厚生労働省健康危機管理調整会議に関する訓令」(平成13年1月厚生労働省訓第4号)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	公衆衛生上の緊急事態やテロリズム等国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して迅速かつ適切に対処することを目的として、厚生労働省及び地域における健康危機管理体制を整備する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医薬品、食中毒、感染症、飲料水等により生じる国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して行われる健康被害の発生予防、拡大防止、治療等に関する業務を行うため、健康危機が疑われる各種情報の収集・分析、並びに省内各一部局間の横断的かつ緊密な連携及び短時間で的確な政策調整を行う。また、世界健康安全保障行動グループ(GHSAG)等の国際会議等に参加し、健康危機管理の向上及びテロ行為に対する準備と対処に係る各国との連携を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	10	8	8	8	40
		補正予算					
		繰越し等					
		計	10	8	8	8	40
		執行額	4	7	5		
	執行率(%)	40.0%	87.5%	62.5%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	健康危機管理体制を整備するための経費であるため、その成果を数値で示すことは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	健康危機管理調整会議の定期開催件数	活動実績 (当初見込み)	回	23回 (24回)	22回 (24回)	24回 (24回)	- (24回)
単位当たりコスト	208,000 (円/1回)		算出根拠	執行額/活動実績			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	5	5	国際会議開催に伴う増			
	委員等旅費	2	2				
	庁費	1	33				
計	8	40					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	公衆衛生上の緊急事態やテロリズム等国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して迅速かつ適切に対処することを目的として、厚生労働省及び地域における健康危機管理体制を整備する経費であり、優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	「厚生労働省健康危機管理基本方針」、「厚生労働省健康危機管理調整会議に関する訓令」に基づく事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	政策目的を達成するための事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	予算決算及び会計令において随意契約が認められている範囲での執行であるため。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	現行の予算規模の範囲内において、効率的な執行に努めており、妥当な水準である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	国際会議等の開催回数・出席者等により変動が生じるためである。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業の目的を達成するため、専門家、有識者の見解を踏まえ、実効性のある取組を示している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は、見込みに見合ったものとなっている。		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-		
点検結果	健康危機管理調整会議を定期的に行い、健康危機管理担当部局間の情報共有・連携強化を図り、また、緊急事態が発生した際には、臨時会議を開催するものであるが、平成24年度は活動見込みどおり会議を24回開催し、緊急を要する案件に対し、迅速かつ適切な対応をはかっており、健康危機管理体制が着実に整備されてきているものと評価できる。なお、会議の出席者等が見込みより少なかったことや効率的な執行に努めた結果、不用率が増加したが、今後も効率的な執行に努めていく。					
	外部有識者の所見					
低い執行率は、会議の出席者等が見込みより少なかった等もあり、やむを得なかったと思われるが、今後は適正執行に努めること。「(長崎、井出)」						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は、公衆衛生上の緊急事態やテロリズム等国民の生命、健康の安全を脅かす事態に迅速に対処することを目的として、健康危機管理体制の整備に必要な経費であり、執行状況を精査し、必要な予算措置に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	338	平成23年	291	平成24年	251

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	健康危機管理に係る会議出席旅費	0.4			
計		0.4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	情報配信サービス費	0.2			
計		0.2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	健康危機管理に係る職員旅費	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	専門家A	健康危機管理に係る会議出席旅費	0.4	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)時事通信社	健康危機管理体制の整備に係る事務費	0.2	随意契約	—

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	健康危機管理に係る職員旅費	1	—	—
2	職員B	健康危機管理に係る職員旅費	0.6	—	—
3	職員C	健康危機管理に係る職員旅費	0.5	—	—
4	職員D	健康危機管理に係る職員旅費	0.4	—	—
5	職員E	健康危機管理に係る職員旅費	0.4	—	—
6	職員F	健康危機管理に係る職員旅費	0.4	—	—
7	職員G	健康危機管理に係る職員旅費	0.3	—	—
8	職員H	健康危機管理に係る職員旅費	0.1	—	—